



超コンパクト&高性能のPCを導入 店舗の省スペース化と 高いパフォーマンスを同時に実現

プラザクリエイトが、コンセプトショップ「PHOTO & MORE」の来店客用PCに超コンパクト筐体の高性能機を採用。ゆったりとした店内スペースを実現し、来店客に向けた新しい写真の楽しみ方を提案



「Dell OptiPlex 9020 マイクロの省スペース効果で、お客様用の作業デスクの奥行きが約20cm 広がりました。また、画像処理のスピードが従来比で1.3倍アップした結果、お客様をお待たせする時間が短縮され、顧客満足度の向上につながっています」

株式会社プラザクリエイトストアーズ
マーケティング部
品質管理グループ
グループリーダー 松元 優一 氏

カスタマー・プロフィール

PLAZA CREATE

企業名: 株式会社プラザクリエイト
業種: 小売/卸売
所在国: 日本
従業員数: 2,491名
Webサイト: www.plazacreate.co.jp/

課題

プラザクリエイトでは、来店客のための作業スペースを備えた新しいコンセプトショップの展開にあたり、店内の省スペース化と作業効率の向上を目指し、超コンパクト&高性能のPC導入を決めた。

ソリューション

Dell OptiPlex™ 9020 マイクロは、高さ18.2cm x 幅3.6cm x 奥行き17.6cmの筐体に、ハイエンドPC向けのCPUであるインテル® Core™ i7 プロセッサーや、ビデオカードにインテル® HD グラフィックス 4600、そして8GBメモリなどを搭載。店内の限られたスペースを最大限有効活用できる超コンパクトサイズと、パワフルなグラフィック処理能力は、新たな写真サービスの戦略型店舗にふさわしいハイパフォーマンスと省スペース性を共に実現する。

導入効果

- 超コンパクトサイズの筐体が、限られた店舗スペースの有効活用を実現
- 什器などへ組み込む際も、超小型なので自由度の高いデザインが可能
- ハイスペックPCの強力な処理パワーで大容量の画像データも迅速に加工
- きわめて低い故障発生率で、キオスク端末としても安心して導入できる
- 優れたグラフィック性能が画像データの新しい楽しみ方を創出

ソリューションエリア

- クライアントソリューション

「スマートフォンの普及などで、写真をデータとして楽しむ方は着実に増えてきています。当社も今後は従来の写真プリントに限定することなく、動画も含めた多彩な写真データをどう活用していくかをプロの視点から提案していかなくてはなりません。その実現に向けて、ITは非常に重要なカギとなります」

株式会社ブラザクリエイト
社長室兼人事部
高橋 梢 氏

国内最大級の写真プリントショップチェーン「パレットプラザ」や「55ステーション」を展開する株式会社ブラザクリエイト。創業以来、写真プリント事業を軸に成長を続けてきた同社では、近年、デジタル写真や動画も含めた新たな写真の楽しみ方の提案を目指し、撮影スタジオやモバイル事業などの新事業展開を進めてきた。現在そうした取り組みの目玉となっているのが、2014年に発表した新スローガン「PHOTO & MORE」と、そのコンセプトに基づく新店舗の展開だ。従来の「写真を撮る、プリントする」といった楽しみ方に加え、「その写真をもとに何かを作る楽しさを提案する」を前面に掲げ、同社では今まさに全国の既存ショップのリニューアルを急ピッチで進行中だ。

1984年、当時まだ学生だった大島康広氏（現・代表取締役社長）によって創業され、1986年にはパレットプラザ第1号店を愛知県名古屋市に出店。以来、パレットプラザのフランチャイズ展開をもとに、写真プリントサービスショップとして飛躍的な成長を遂げてきたのが、株式会社ブラザクリエイト（以下、ブラザクリエイト）だ。現在の店舗数は同社の二大ブランドであるパレットプラザ、55ステーション合わせて、全国で625店。まさにわが国最大級のプリントショップチェーンといえる。

同社では従来からの写真愛好家に加え、スマートフォンなどを介して手軽にデジタル写真や動画を楽しむ新たな顧客層のニーズに対応するため、米国Vistaprint社との合併会社によるオンライン写真プリントサービス事業などにいち早く進出。インターネットを始めITを活用した新たな写真ユーザの開拓と、写真を中心としたオリジナルグッズ作りなどを提案する、新業態ショップの展開に精力的に取り組んでいる。

新しい写真の楽しみ方を提案する 「PHOTO & MORE」ショップの展開

現在のブラザクリエイトの事業の中で、今もってもホットな領域の一つが、新しいコンセプトショップ「PHOTO & MORE」である。これは同社の主力ショップ、パレットプラザの新バージョンともいえる位置付けだ。従来のプリントショップがいわゆる「DPEショップ」と呼ばれ、写真の現像・焼き増しサービスを提供するだけだったのに対し、「PHOTO & MORE」ではさらにその写真を自分で加工したり、オリジナルグッズを作るといった楽しみ方を提案するための店舗作りが強く意識されている。

この背景には、従来からのいわゆる写真を撮って現像・焼き増しをするだけの顧客の減少がある。こうした層を、今後どう取り込み直していかれるかが大きな課題だと同社では考えている。その一方では、スマートフォンの普及につれて、写真をデータとして楽しむ人々が急激に増えて

いる。株式会社ブラザクリエイト 社長室 兼 人事部 高橋梢氏は、「今後は従来の写真プリントに限定することなく、これらの写真データをどう活用していくかをプロの視点から考えていかなくてはなりません。そうしたデータが主流の時代の提案を進める上で、ITは非常に重要なカギだと考えています」と戦略を語る。

ブラザクリエイトでは今後、既存のパレットショップの全店をこの新しい業態「PHOTO & MORE」にリニューアルしていく考えだ。その具体的な店舗づくりのポイントを、株式会社ブラザクリエイトストアーズ マーケティング部 品質管理グループ グループリーダー 松元優一氏は、「お客様のためのスペースをできるだけ広く開放すること」だと明かす。従来のDPEショップは、お客様のためのスペースが2割でバックヤードが8割と言われてきた。「PHOTO & MORE」では、この比率を逆転させようというのだ。

「お客様のためのスペースをゆとりとって、店舗にテーブルを入れてワークスペースを設けます。この場所で、お客様自身がプリントした写真を使ってワークしたり、額装や小物へのプリントといったオリジナルグッズも作れます。これまでのDPEショップでは味わっていただけなかった、写真を使って何かを作る楽しさを、今回の新しいショップ作りを通じて提案しようと当社では考えているのです」と松元氏は語る。

「PHOTO & MORE」の店舗づくりでは、お客様のスペースをできるだけ広く取るために、省スペースの追求が重要なテーマになった。そのために店舗設計では、店内の什器もすべて新しくデザインし直している。当然そこに設置されるお客様用のPCも、極力省スペース型の

導入システム

ハードウェア

Dell OptiPlex 9020 マイクロ

ものでなくてはならない。しかも、扱うデータは写真、動画といった大容量のデータファイルだ。これらを効率よく処理するための十分な処理能力を備えている必要がある。そこでブラザクリエイトはさっそく、数社の高性能コンパクトサイズのPCの比較検討に着手した。

PC そのものの高い信頼性ときわめて低い故障率が採用の決め手

「PHOTO & MORE」に導入する高性能コンパクトPCの選定にあたって、当初はタブレットなども含めた比較検討が行われた。しかし、長期間にわたってお客様が使用していくとなれば、耐用年数や修理・部品交換という保守の問題は無視できない。その点で、タブレットのような一体型では、コスト面でも保守性でもデメリットが大きい。松元氏は、単体で使えてしかも高性能コンパクトサイズのPCに候補を絞り込んでいったという。

最終的にDell OptiPlex 9020 マイクロ(以下、OptiPlex 9020 マイクロ)の採用を決めた理由として、松元氏は製品の信頼度の高さを一番に挙げる。これは、今回の製品選定のための比較検討結果に加え、過去10年以上にわたって同社でデルPCを導入し、使用してきた実績を踏まえての判断でもあるという。

「これまでずっとデル製品を使ってきて、やはり機械に対する信用度が非常に高いことが評価の対象になりました。特に故障率がきわめて低いので、店舗で一般のお客様に提供する作業用マシンとして安心して導入できます。この故障が少ないということが、長年継続してデルのPCを採用してきた大きな理由の一つです」と松元氏は語る。

もちろん、高性能コンパクトサイズのPCとしても、十分な評価を得た上での採用決定なのとは言うまでもない。同社がPCのパフォーマンスにこだわるのは、それが店頭を訪れたお客様の顧客満足度に直結するからだ。最近ではデジタルカメラの技術が急速に進歩し、画像データも高精度かつ大容量になっていく一方だ。加えてそれらのデータファイルを持ち込むためのメディアも大容量化の一途をたどっている。お客様が持ち込んできた大容量のデータを高速で読み込み、処理するだけのパワーがなければ、よい待ち時間などのストレスを与えてしまう。

松元氏は、「PHOTO & MOREでは、持ち込んだデータをお客様自身が加工することも多く、店舗内のキオスク端末(お客様が直接触れるPC端末)では、スペックのよしあしがそのままお客様の作業時間に影響します。『ハイスペックPCで高速処理』というのは、大変重要な要件でした」と語る。

ブラザクリエイトは、競合他社の中で一番速い処理性能で、お客様がもっとも快適に写真データの加工作業を行える環境を提供するため、考えうる最高のスペックの機材を導入しよう

とのコンセプトでPC選びを進めていった結果、OptiPlex 9020 マイクロを正式決定。現在、1,800台が全国の「PHOTO & MORE」ですでにフル稼働中だ。

サービスのスピードアップに加え家族連れなどの新たな顧客層を獲得

OptiPlex 9020 マイクロの導入がもたらしたメリットの第一は、何といても広い店舗スペースが確保できたことだ。「PCの分だけでも奥行きが約20センチ狭められたので、有効な作業スペースを作るという意味では高い効果があったと考えています」と松元氏は強調する。

データの加工を行うスペースには、お客様がゆったりと作業に専念できるよう、1人につき1つの作業デスクが提供されている。従来の大型筐体のPCをこのデスク上に置くと肝心の作業スペースが狭められてしまうが、高さ18.2cm x 幅3.6cm x 奥行き17.6というOptiPlex 9020 マイクロは、このデスクの下の見えない部分に完全に格納可能なため、デスク上にはモニターとキーボードだけで、広々とした作業スペースが確保できるようになった。

もう1つは、処理速度のアップだ。画像処理のスピードが従来比で1.3倍速くなった。この結果、お客様を待たせる時間が短くなり、体的にも十分なサービスアップを果たしている。一方、故障率がきわめて低いことも証明済みだ。松元氏は、「まだ正確なパーセンテージは集計中ですが、もともと本当に発生数が少なく、1,800台の中のほんの一握りで、おそらく0.数パーセントというレベルに収まっています」と明かす。

OptiPlex 9020 マイクロの導入によって、新しいサービスも生まれた。お客様のスマートフォンに入っている動画をDVDに加工するサービスだ。スマートフォンで手軽に動画を楽しむ人は多いが、従来のPCでは動画に対応するにはスペックが足りない、処理時間がかかり過ぎる、データ容量が少なすぎるといった問題があった。それが今回OptiPlex 9020 マイクロによって可能になったのだ。同社が導入したOptiPlex 9020 マイクロには、ハイエンドPC向けのCPUであるインテル® Core™ i7 プロセッサや、ビデオカードにインテル® HD グラフィックス 4600、そして8GBメモリなどが搭載され、パワフルなグラフィック処理を可能にしている。今回のDVD加工サービスは、まさにOptiPlex 9020 マイクロの処理パワーを得て初めて実現した、新しいサービスの好例だといえるだろう。

念願の省スペース化を実現した「PHOTO & MORE」では、店内にゆったりくつろげるテーブルを持ち込んだ。これがお子様連れで写真を楽しむファミリー層の集客を招き、撮影イベントや制作イベントの定期開催といった継続的な店のファン作りにつながっているという。



「こんなことは、従来の店舗ではとうていできませんでした。まさに新しい店舗の可能性を象徴するエピソードだと思っています。また今の家族連れのお客様は、写真単体だけでなく、それを核にしたイベントや空間を楽しむ傾向があります。そうした新しいニーズに、写真のプロとして新しい楽しみ方を提案できていると自負しています」と松元氏は語る。

こうした新しい層のお客様が集まる店舗づくりや、訪れたお客様をお待たせしないスピード感を実現できたことは、まさに同社の今後の経営ミッションの具体化であり、経営陣からも高い評価が寄せられているという。

リアルとネットのシナジーを目標に新たなビジネスの可能性を探る

今後ブラザクリエイトが追求していくキーコンセプトとして、松元氏は、「スマートフォンとの融合」や「ネットとの融合」を挙げる。すなわち「リアルとネットのシナジー」が重要なテーマになると考えているのだ。このため同社では、すでに2014年3月にワールドワイドでオンラインプリントサービスを提供するVistaprint社との合併によるビスタプリントジャパン株式会社を設立。リアル店舗とネットビジネスの融合に向けた取り組みを開始している。

今後のブラザクリエイトの目指す具体的なビジネスイメージを松元氏は、「1つは、お客様から受け取るデータの種類や幅を広げ、なおかつ処理スピードを上げていく。もう1つは、そうしたデータをこちらで加工したものを再びデータとしてお返しするといったサービスです」と語る。従来のようにお客様が撮影した写真を高品質に処理するだけでなく、加工や処理といった部分に写真のプロのノウハウとアイデアを組み合わせることで提案していくことが、これからの差別化の重要なポイントだと考えているのだ。

そうすればデータ処理のプラットフォームとなるITには、大容量のデータを高速処理してゆくパワーや、多彩な処理を可能にするアプリケーションが求められる。同社では、写真のプロフェッショナルの視点から、より優れたユーザビリティやシンプルさを備えた新しいソリューションを提案していくという。「どんなに新しい技術やビジネスのスタイルが生まれてきても、私たちに写真というぶれない軸があります。この写真という切り口にご協力しながら、しかも新しくシンプルに楽しめるものをお客様に提案していきたいと願っています」と語る松元氏。

ブラザクリエイトの描く新たなビジネスのイメージに、OptiPlex 9020 マイクロがまた一つ鮮やかな彩りを添えていく。

「10年以上デル製品を使ってきて、信用度が非常に高いことが採用の決め手になりました。特に故障率がきわめて低いので、一般のお客様に提供する作業用マシンとして安心して導入できます。この故障が少ないということが、長年継続してデルのPCを採用してきた大きな理由の一つです」

株式会社ブラザクリエイトストアーズ
マーケティング部
品質管理グループ
グループリーダー
松元 優一 氏



株式会社ブラザクリエイトストアーズ
マーケティング部
品質管理グループ
グループリーダー
松元 優一 氏



株式会社ブラザクリエイト
社長室兼人事部
高橋 梢 氏

ユーザ導入事例ウェブサイトにて、他にも多くの事例をご覧ください。

www.dell.co.jp/casestudy

